

中国の記事から (WTO/FTA・貿易・安全 ・その他)

2006年5月10日号

目次

◎山西省農業庁、毒性の強い農薬の販売管理制度導入へ

【中国化工報 2006年05月09日】

◎夏季は華北地区南部から長江下流にかけて多雨の見込み

【経済日報 2006年05月10日】

◎山西省農業庁、毒性の強い農薬の販売管理制度導入へ

【中国化工報 2006年05月09日】

山西省農業庁は、4月28日、野菜、果物生産区域において毒性の強い農薬を対象に販売管理制度を実施していくことを決めた。全省の各地で高い信用を有する農薬販売業者2～3社を選択して毒性の強い農薬販売資格を発給、その他の業者による販売を禁じていく。また、毒性の強い農薬販売業者の農薬購入量、時期、購入者の購入量、身分証番号なども記録することが義務付けられる。山西省農産物品質安全検閲観測センターなどが、野菜、果物についてメタミドホス、フォレート、モノクロトホスなどの残留量検査を行う。

また、関係部門の統計によると、山西省2005年の農薬合格率は67.4%、農薬残留量の不合格率は13%となっている。

◎夏季は華北地区南部から長江下流にかけて多雨の見込み

【経済日報 2006年05月10日】

中国気象局の秦大河・局長は、9日、全国の今年通年の気象は洪水よりも旱魃(かんばつ)が多く、気象災害は例年よりもやや多くなるとの見通しを示し、各地の気象部門に対して重要な気象予報・警告を確実にを行うよう指示した。国家気候センターの予測によれば、夏季(6～8月)、華北地区南部から長江下流にかけて雨量が多くなり、華南地区の大部分、西南地区の西南部、内モン

ゴル自治区の中西部などでも雨量は例年より多くなる。また、渭水流域、漢水上流、黄河・淮河などでは洪水が発生する可能性があり、華南地区沿岸部では台風にもなう洪水が発生、江南地区の中部、西北地区の中部では少雨傾向となる見込み。

このほか、青海省の大部分、河北省の南部、山東省では気温は例年より低めとなるが、その他の地区では例年と同程度またはやや上回ると予測されている。台風発生数も例年を上回るため中国に上陸する台風も増加するものとみられる。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。